

2018年第2回IEEE東京支部理事会 議事録

日 時：2018年6月15日(金)15:00～17:15

場 所：秋葉原UDXカンファレンス6階TYPE120

出席者：笹瀬 Chair、佐藤 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、
高村、浅田、八井、稲森(代)、岡田、奥田、滝嶋、三木、
鈴木、原崎、野田 (敬称略、順不同)

事務局：加藤、福岡 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認 【審議】 (資料1)
2. 2018年中間会計報告 (資料2)
3. 2019-20年IEEE東京支部役員・理事候補の指名について 【審議】 (資料3)
4. 委員会活動報告 (資料4)
5. Affinity Group 活動報告 (資料5)
6. その他 (資料6)
 - ・ Japan Council Women in Engineering 報告
 - ・ SIGHT 報告
 - ・ 国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS)に関する Fee について
 - ・ IEEE GDPR について
 - ・ SYWL 2018(Bali)の参加者について
 - ・ 国際会議 ISCAS2019 の共催(FCS)依頼について 【審議】

議事：

0. 笹瀬 Chair のご挨拶

笹瀬 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料 1)

杉江 Secretary より前回理事会(2018 年第 1 回)の議事録について説明があった。

議事録は異議なく承認された。

2. 2018 年中間会計報告 (資料 2)

眞田 Treasurer より 2018 年 5 月末までの中間会計について報告があった。全体では現在順調に推移しており、最終の収支予測は予備費を予算通りに支出した場合ほぼ予算通りである。

3. 2019-20 年 IEEE 東京支部役員・理事候補の指名について【審議】 (資料 3)

二見 Nomination Committee Chair の代理で杉江 Secretary より次年以降の支部役員・理事候補の報告があった。ただし、Chair は調整中であり、別途審議する。常設委員の現 Chair は次期 Vice Chair、Secretary に受諾の意思を確認したうえで、11/30 までに各候補者名を報告する。

以上、調整中を除き 2019-20 年 IEEE 東京支部役員・理事候補は異議なく了承された。

4. 委員会活動報告

・ Membership Development Committee (資料 4-1)

八井 Chair より報告があった。JC MD Coordinator の橋本理事と連携して、WebEx を利用した会議を 4/10 に実施した。課題を調べるために、現状の会員動向の調査を行った。

・ Publications Committee (資料 4-2)

岡田 Chair より報告があった。Tokyo Bulletin No.110 の発行、東京支部 HP、JC HP の更新を行ったことが述べられた。次号 Tokyo Bulletin は 8 月発行予定である。

・ Student Activities Committee (資料 4-3)

稲森 Vice Chair より代理で報告があった。電通大および東京農工大でのイベント、ワークショップが開催された。2018 年活動支援について予算の説明があり、今年度から活動支援については、JC SAC と東京支部 SAC で切り分けをして進めていることが説明された。

・ History Committee (資料 4-4)
奥田 Chair より報告があった。富士通研、NEC、NTT、NTT ドコモの 4 件の Milestone 申請状況に対して説明があった。

5. Affinity Group 活動報告

・ Life Member Affinity Group (資料 5-1)
三木 Chair より報告があった。LMAG 総会の開催、講演会の開催、LMAG イブニングサロン、名古屋支部見学会への協力、ニュースレターの発行と送付を実施した。また、LMAG として 2018 IEEE Life Member Affinity Group Achievement Award にエントリーしている旨、報告がなされた。

・ Young Professionals (資料 5-2)
鈴木 Chair より報告があった。再生医療学会総会 中高生のためのセッション、第 3 回ハックチャレンジ準備状況、COMPSAC YP Session 準備状況、エッセイコンテスト準備状況、むつ市への出張授業（キャリアナビゲータ）準備状況、こども霞が関見学デーにおける出張授業の準備状況、今後の活動計画について説明があった。また、東京 YP10 周年記念イベントについても企画書および検討状況の説明があった。

6. その他

6-1. Japan Council Women in Engineering 報告 (資料 6-1)
野田 Chair より説明があった。役員会、仙台 WIE 設立 1 周年記念講演会の報告があった。

次に、IEEE WIE ILS Tokyo 2018 の準備状況の説明があった。WEB を公開し、協賛金の募集要項を作成した。資料として提出された企画書に沿って講演者やプログラム構成案、参加費（予定）についての説明があった。

6-2 SIGHT 報告 (資料 6-2)
西宮オブザーバの代理で鈴木 Chair より報告があった。Past Global SIGHT Chair の Amarnath Raja 氏とのミーティング、Humanitarian Activity 関連の活動をしている Timothy Underwood 氏とのミーティングを実施した。さらに、今後の活動内容について説明があった。また、キャリアナビゲータとして、青森県むつ市ユメココ教室からの依頼に対しての企画案（イベント内容、スケジュール、予算案、申請金額）の説明があった。

6-3 国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS)に関する Fee について (資料 6-3)
杉江 Secretary より国際会議を共催する場合は、Xplore に掲載しなくても定額 1000 ドル

の負担が発生すること、今年の 1 月 1 日以降に契約する国際会議が対象となる旨、説明があった。

6-4 IEEE GDPR について (資料 6-4)

杉江 Secretary より、IEEE 本部の GDPR への対応状況について報告があった。GDPR は 2018/5/25 から効力を持ち、IEEE メンバ個人データも対象となること、IEEE 本部では関連する WEB コンテンツを更新しているとの報告があった。すべての IEEE 会員にメールで合意する確認をメールで実施している状況である。

6-5 SYWL 2018(Bali)の参加者について (資料 6-5)

杉江 Secretary より報告があった。東京支部所属会員の申込み状況は 10 名であり、そのうち東京支部からの費用支援は 3 名、その他は JC 支援となる。東京支部以外の各支部からも 1 名前後の追加の申込みがあり、日本全体では 20 名が参加する見込みである。

6-6 国際会議 ISCAS2019 の共催(FCS)依頼について【審議】 (資料 6-6)

杉江 Secretary より、国際会議の東京支部共催について審議依頼があった。収入、支出の詳細等について報告がなされた。高村 COC Chair より、収入のうち国費、黒字の内訳について説明がなされた。

以上、東京支部共催は異議なく承認された。

なお、理事会最後に今年 8 月 15 日から 10 月 1 日まで IEEE の選挙があるので、棄権せず投票するよう周知があった。

【配布資料】

- ・ Society 別・支部別会員数 (Membership Development Committee 資料 4-1-3 差替え)
- ・ JC/東京支部主要イベントカレンダー

以上